令和３年５月１９日改定

千葉市若葉文化ホール　感染症予防対策・チェックシート

利用日：　　年　　月　　日　利用区分：AM ・ PM ・ NT　利用施設：ホール/１リハ/２リハ
利用日：　　年　　月　　日　利用区分：AM ・ PM ・ NT　利用施設：ホール/１リハ/２リハ
利用日：　　年　　月　　日　利用区分：AM ・ PM ・ NT　利用施設：ホール/１リハ/２リハ
利用日：　　年　　月　　日　利用区分：AM ・ PM ・ NT　利用施設：ホール/１リハ/２リハ

下記のチェック項目を厳守し利用いたします。

団体名：

ご利用者様自署：

チェック項目	チェック
①　定員の努力目標を“管理者の定める人数”として、人の密度を減らし、ソーシャルディスタンス確保に努めます。	
②　来場者および出演者（練習の場合は参加者）＜※以下利用者とする＞に、必ずマスクの着用の徹底を促します。 ※演出の表現上、困難な場合を除く	
③　利用者には利用施設へ入場する前に、手指の消毒、または手洗いの徹底を促します。	
④　利用者には、必ず利用当日の検温を促します。風邪の症状や発熱等、体調不良等の場合には、来館自粛を促します。	
⑤　利用者の①氏名　②連絡先　③体温　④体調を記載した一覧＜※以下“利用者名簿・健康管理記録“とする＞を作成します。 “利用者名簿・健康管理記録”を利用終了後１か月間保管の上、しかるべき場合に、保健所等へ開示することに同意します。	
⑥　利用者の接触が起こるドアノブや手すり、テーブル、折りたたみ椅子は、施設利用中、可能な限り消毒ふき取りを行います。（消毒液は主催者でご用意ください） ※利用前に施設スタッフが可能な限りの消毒・清掃を行っております。 ※ホール所有の楽器、音響機材等への消毒液の吹き付け、ふき取りは厳禁	
⑦　利用中にはこまめに休憩時間を確保し、休憩時間中にはドア等の開放など換気を十分行い、感染予防に努めます。（施設の空調は外気を循環させております）	

施設確認者

＜各施設利用人数の努力目標＞

ホール：　１４７名（ホールの座席で、前後一列・左右一つずつ空け、ソーシャルディスタンスを確保した状態で利用できる人数）

リハーサル室：１０名以下（定員の半数）

※催し物内容によってはご利用の自粛を依頼する場合がございます。**（裏面参照）**
“３密”回避のため、事前に内容確認をさせていただき、内容の変更をお願いする場合があります。
※本チェックシートは千葉県・千葉市等から名簿とともに提出を求められる場合があります。

千葉市若葉文化ホール

参考資料

「密集」「密接」が避けられず感染リスクが高いと思われる下記の項目については、国・県・市等、また各音楽団体等のガイドラインから**ご利用を制限させていただいたおります。**
※ご利用に関する緩和については、国、千葉県、千葉市による総合的判断からなされます。
あしからずご了承くださいませ。

	項目	制限理由
△	声楽・オペラ 詩吟・民謡・歌謡 (カラオケ)等	対策を十分に行ったうえで利用可 ※注意事項１
△	交響楽・管弦楽・吹奏楽	密集しての演奏が含まれるため ※距離間については担当者に確認下さい
△	軽音楽・Jazz・タンゴ演奏等	対策を十分に行ったうえで利用可 ※注意事項１
△	合唱・コーラス	密集しての高唱、飛沫感染リスクが高いため (対策を十分に行ったうえで利用可) ※注意事項１
△	歌声コンサート	ご来場者様の歌唱による飛沫感染リスクが高いため (対策を十分に行ったうえで利用可) ※注意事項１,
△	社交ダンス	身体的接触、発声を伴わない内容については利用可 ※注意事項２
△	フォークダンス スクエアダンス	身体的接触、発声を伴わない内容については利用可 ※注意事項２
△	その他 舞踊・ダンス	バレエ、Jazz ダンス、エアロビクス、HIPHOP ダンス等 （対策を講じた上で利用可）
△	お笑い・漫才・新喜劇等	密接しての会話、来場者の歓声等による飛沫感染リスクが高いため （対策を講じた上で利用可）
△	ミュージカル・演劇	密接しての歌唱・演出等が含まれる可能性が高いため (対策を十分に行ったうえで利用可)
△	空手・柔道・剣道・合気道・少林寺拳法	密接しての感染リスクが高いため （身体接触、発声を伴わない場合は利用可）
△	囲碁・将棋・麻雀	密接しての感染リスクが高いため（対策を講じた上で利用可）
△	社内研修会等	対面でのワークショップ、ディベートなどの密集・密接、決起集会等による社歌斉唱、掛け声による飛沫感染リスク等 (対策を講じた上で利用可)
	その他	密接・密集しての演出、また飛沫感染リスクの高い演目が含まれる催物

注意事項１【発声を伴う活動（飛沫感染リスクの高いもの）】
① マスクを着用し、合唱者間の距離は前後２m以上、左右１m以上確保し、向かい合う配置は避ける
※フェイスシールドのみは不可
② 連続した練習は３０分以内とすること
③ 楽譜・プリントなどの共有を避けること

注意事項２【身体接触を伴うもの（接触感染リスク高いもの）】
① マスクを着用し、特定のペアのみ利用可
※フェイスシールドのみは不可
② 連続した練習は１０～１５分以内とすること